

仕様書番号:仕-USB-R3701-JP

御中

仕 様 書

品名:USB 給電用コンセント

品番:USB-R3701W-JP

USB-R3701DG-JP

JAPPY

2018年6月26日

因幡電機産業株式会社

1. 適用範囲

本仕様書は「USB 給電用コンセント」に適用する。

2. 品名・品番

品名:USB 給電用コンセント

品番:USB-R3701W-JP(ホワイト)

USB-R3701DG-JP(ダークグレー)

3. 適合法規及び関連規格

電気用品安全法(特定電気用品)

JIS C8303,C8306,C6950

J55022(IEC 整合規格)

USB 規格 USB2.0(参照規格),USBBC1.2(参照規格)

RoHS 指令(2011/65/EU)

4. 製品仕様

項目	仕 様
定格出力	DC5.0V、2.4A(2ポート合計)
定格入力	AC100V 0.5A Max、定格周波数:50/60Hz
USBポート	2口
USBコネクタ形状	Aタイプ
適合電線	VVF φ1.6、φ2.0
寸法	詳細寸法は添付図面参照
使用温度範囲	-10℃~40℃
質量	約90g
使用場所	屋内(屋外不可)

5. 製品性能

試験方法は 1. 適合法規及び関連規格による。

	項目	特性
ねじなし端子部性能	引張強度	電線の脱出、端子部破損等使用上有害な異常のないこと。 引張荷重: 100N(10.2Kg)にて 1 分間
	曲げ強度	電線の脱出、端子部破損等使用上有害な異常のないこと。
	ヒートサイクル	25 サイクル目と 125 サイクル目における温度上昇の差は 8K(8°C)以下のこと。
	温度上昇	35K(35°C)以下
DC 部性能	出力電圧特性	入力電圧 AC100V±10V <ul style="list-style-type: none"> ・①-④ピン間の電圧を測定したとき DC5.0V±5% ・②、③ピンの状態は接続される機器による。 ※USB コネクタピン配置は下図参照。
	過電流防止特性	過電流(2.5~2.9A)が流れると、出力停止。 ※原因となる機器を取り外すと再び使用可能
	接触温度限度	通常負荷の使用条件下で、接触することができる機器の外部表面は 95°C以下。
	異常温度上昇試験	過電流保護機能不動作時の最大電流を通電したとき下記の条件を満足すること。 ①発火したときは、機器から外に延焼してはならない。 ②機器から溶融金属が出てはならない。 ③試験後、耐電圧に耐えられること。
	絶縁抵抗	DC500V 絶縁抵抗計により測定した充電部と機器の表面との間の 絶縁抵抗は 1MΩ以上であること。
	耐電圧試験	①通常負荷の温度上昇試験の直後、1 次回路と器体の間に AC2000V 60 秒間に耐えること。 ②通常負荷の温度上昇試験の直後、1 次回路と 2 次回路の間に AC2000V 60 秒間に耐えること。

項目		特性		
DC 部 性 能	伝導妨害波電圧の 許容値	表 1-クラス B 情報技術装置の電源ポート伝導妨害波電圧の許容値		
		周波数範囲	許容値 dB(μV)	
		MHz	準尖頭値	平均値
		0.15~0.5	66~56	56~46
		0.5~5	56	46
		5~30	60	50
		注 1)周波数の境界では低い方の許容値を適用する。 注 2)0.15MHz~0.50MHzの範囲での許容値は、周波数の対数値に 対して直線的に減少する。		
	放射妨害波の 許容値	表 2-測定距離 10m でのクラス B 情報技術装置の放射妨害波の許容値		
		周波数範囲 MHz	準尖頭許容値 dB($\mu V/m$)	
		30~230	30	
		230~1000	37	
		注 1)周波数の境界では低い方の許容値を適用する。 注 2)妨害が発生した場合は、追加の保護手段が要求されることがある。		
	USB ポート挿抜 耐久性	挿抜回数:10,000 回(挿し/抜きで 1 回) 挿抜頻度:200 回/時以下 ・通常使用が可能なこと (接触不良なきこと、異常温度なきこと) ・コネクタ、半田状態に異常なきこと (導通不良に至る半田クラック)		
共 通 部 性 能	耐熱	80±3℃にて 7 時間放置後、使用上有害な異常のないこと。		
	外郭押圧強度	600N(61.2Kgf)の荷重を 1 分間加えた時、本体に使用上有害な カケ、ワレ、ヒビ、破損などの故障がないこと。		
	自重落下	1m の高さよりに 3 回落下させた時に、本体に使用上有害な カケ、ワレ、ヒビ、破損などの故障がないこと。		

6. 使用上のご注意

- (1) 屋内配線の絶縁抵抗試験等で定格電圧以上の電圧が印加される場合は、必ず、本体に接続している AC 側銅線を外してください。
- (2) 製品本体に異常発熱や異臭がみられた場合は、直ちにご使用を中止してください。異常がみられたままご使用を続けると変形、変色、ススの発生、焼損の恐れがあります。

変更履歴

版数	日付	変更内容	担当	検印
	2018.6.26	新規制定	吉田	-